

# アンビシャス



福岡県



AMBITIOUS

ambitious report

# 通信



Vol.88 | 2020 Summer



空気のかで浮く乗り物「ホバークラフト」を作ります



ペットボトルで作った「いかだ」。いざ、進水!



大きな段ボールで「どでか紙相撲」

## 青少年アンビシャス運動で育った若者たち

若者たちにインタビュー

子どもの頃に青少年アンビシャス運動に参加し、様々な経験をして育った若者たちにインタビューを行いました。若者たちは、活動を通して学んだことや、将来の夢・目標などについて真摯に語ってくれました。

「遊びの森」クラブ (鞍手町)

### 自身の体験や学びを、次の世代にもつないでいきたい

「遊びの森」クラブでは、子ども同士で遊ぶのはもちろん、地域の方たちも一緒になって遊ぶことができたのがとても楽しかったです。高学年になると視野が広がり、低学年の子にも気を配り、面倒を見る立場になっていきました。地域の方たちに私たちが支えられていることを実感したことで、自分も地域に恩返しをしていきたいと思い、現在は教員を目指して頑張っています。自分が体験したことや学んだことを次の世代にもつないでいきたいと思っています。



木村 百花 さん(大学1年生)

### 周りの大人から褒められたことが心に残っています

活動中はよく低学年の子の面倒をみていました。この経験から、周囲の人への気配りを忘れず、困っている人が放っておけないようになりました。絵を描くことが好きのため、将来はデザイン系の仕事につきたいと思っています。小学生のとき、周りから「絵が上手」と褒められたことや、自分が描いた絵を大人が認めてくれたことが、とても嬉しく記憶に残っています。



芝田 真帆 さん(高校3年生)

### 人との関わりに対する苦手意識や先入観がなくなりました

活動に参加する前は、人と関わることに苦手意識を持っていましたが、たくさん子どもたちと一緒に遊ぶことで相手の良いところを見つけることができるようになり、苦手意識や先入観を持たずに人と関わるようになりました。今後の目標は、まだ定まっていませんが、活動を通して様々な人の「心」に興味を抱くようになったため、将来の選択肢の一つとして、心理学を学ぶことを視野に入れていきます。



木村 菜々美 さん(高校2年生)

### 代表の嶋立さんから一言

幼い頃に「故郷愛」を育んでもらおうと始めた「遊び」で、子どもたちがこうして成長している姿を見て、とても嬉しく思います。また「遊びの森」に来て、可愛い後輩たちと一緒に遊んでほしいです。

